

平成29年9月1日

保護者各位

四日市市立内部東小学校
校長 高橋 啓一

子どものちょっとした変化を見逃さないで！

日頃は、本校の教育活動にご理解とご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、近年、子どもが自分で命を絶ったり、友達の命を亡くしてしまったりなど、とても悲しい事件が発生しています。先日の職員会議でも、このことについて話し合いました。

子どもたちの心は、大人が考えている以上に様々なストレスを抱えているのが現状です。子どものちょっとした変化を見逃さず、周囲との絆を回復することこそが、未然防止につながります。

家庭や学校で毎日接している保護者や教師が、子どものちょっとした変化（「心の叫び」）を最初に受け止めて、一人で抱え込まず、家庭と学校が協力して、子どもたちの心に向き合っていきたいと考えています。

何かお気づきのことがありましたら、学校（担任、学年、養護教諭、管理職、スクールカウンセラー）【349-0036】にお知らせください。

また、子どもから「不安である」という訴えがあったときは、下記のような「TALKの原則」での対応が求められます。

記

TALK（トーク）の原則

- 1 T e l l・・・言葉に出して「心配している」ということを「伝える」。
- 2 A s k・・・不安であるという気持ちについて「率直に尋ねる」。
- 3 L i s t e n・・・不安感・絶望感などの気持ちに「傾聴」する。
- 4 K e e p s a f e・・・「安全を確保」する。

子どもから「不安である」という訴えがあったとき、その気持ちを否定したり、安易に励ましたり、叱ったりすると、開き始めた心を閉ざしてしまうことが多くあります。